

資料4-1：ワークショップの進め方

ワークショップでは「つながる」「にぎわう」「ささえあう」の3グループに分かれて実施します。

手順	ワーク種類	実施内容	めやす時間
ワーク1	個人ワーク	<p>資料4-2（既存個別施策一覧）を参考に、まず各自で個別施策についての改善点や、新規施策のアイデアを考えてください。</p> <p><u>改善点や新規施策アイデアは、次のワーク2で付箋で模造紙に貼付けますので、付箋紙に書いていきましょう。</u> なお、資料4-2のメモ欄は考えをまとめるためのメモ用として自由に使っていただいて構いません。</p>	10分
ワーク2	グループワーク	<p>グループ内で各自の意見を順に出し合ってください。</p> <p><u>模造紙に付箋を貼付けする形で意見を出し合い、貼付けの際に類似する意見はまとめていきましょう。</u></p>	25分
ワーク3	グループワーク	<p>グループとしての最終的な意見をまとめてください。</p> <p><u>なお、相反する意見があった場合は、無理にまとめる必要はありません。</u></p>	10分
ワーク4	発表	<p>各グループ代表者1名からグループで出た意見を発表してください。</p> <p><u>グループで統一の意見となったもの、相反する意見が出たもの、それぞれありのままに発表してください。</u> 1グループ5分以内。</p>	15分

■進行について

- 各グループごとに、ファシリテーターとして、地域創生Coデザイン研究所またはNTT西日本富山支店のメンバも入らせていただきます。
- ファシリテーターは時間の管理と発言の促しなどをさせていただきます。
- なお、ファシリテーターはあくまでスムーズな進行のために入らせていただきますので、議論には参加いたしません。